

モリアオガエル

(学名 : *Rhacophorus arboreus*)
[アオガエル科アオガエル亜科アオガエル属]

モリアオガエルはおもに森林に生息していますが、只見町では5月上旬ごろから7月まで田んぼや水辺にでている草木の枝葉にて産卵を行います。

特徴的な泡状の卵塊は、雌の卵と共に排出された粘液を抱接した雌雄が後ろ足でかき混ぜてできたものです。

モリアオガエルには背中模様がある有紋型と、ない無紋型がありますが、只見町産のモリアオガエルは無紋型です。

モリアオガエルはシュレーゲルアオガエルと酷似しており、見分ける方法としては目の虹彩が赤褐色なのがモリアオガエル、金色がシュレーゲルアオガエルとなります。また水かきの大きさが大きいほうがモリアオガエル、小さいほうがシュレーゲルアオガエルです。



特別展示

○只見を再発見！ 「自然首都・只見」展

只見町の自然・文化・生活を、パネルや実物展示で紹介しています。ぜひご覧ください。

期間：7月16日(祝・月)まで

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。誠にありがとうございます。いただきました支援金については、災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支援金 6,744,605円 (64件)
7月9日現在